第53号
2014年5月15日発行
発行所
社会福祉法人日本キリスト教奉仕団
障がい者総合福祉施設アガペセンター
〒252-0002　座間市小松原2-10-14
TEL 046-254-7111 FAX 046-255-2915
ホームページアドレス
http://www.agape-jcws.com

スマイルⅡ開設

スマイルⅡ開設準備室長　元田　勲

二〇一〇年九月にアガペセンターとして初めての事業となるケアホームスマイルⅠ（以下Ⅰ）を座間市相模が丘に開設してから三年が過ぎ、待望のスマイルⅡ（以下Ⅱ）をⅠ隣接地に開設させて頂く事となりました。

障がいの有無に関わらず誰もが生活の場を選択出来る環境が当然であり、住まいを選択出来ない環境こそが障害と考え、木造新築二階建て・入居定員は療育手帳をお持ちの男性七名・「ホームでの生活を通して次なる自立生活を目指す」という目的のもと、現在五月末の完成に向けて準備中です。

今回は二つ目のグループホームではありますが、障がいをお持ちの方の生活の場の選択肢が広がるように、三つ目、四つ目と開設していく事が目標です。

女性や療育手帳以外の手帳をお持ちの方、重度重複障がいの方等、最終的には誰もが一人暮らしも含め選択出来る環境を目指して、Ⅰ・Ⅱの入居者さんのお手伝いを一つひとつ丁寧に積み重ねていきたいと思います。

これからもよろしくお願い致します。

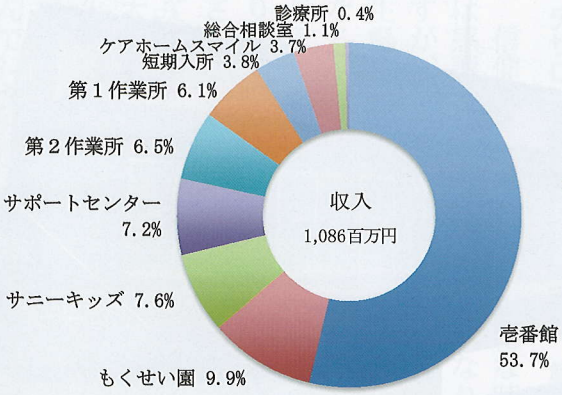
二〇一四年度スタート

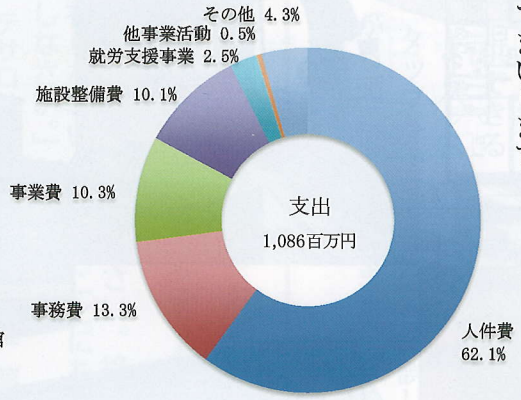
センター長　斎木　満恵

「共に生き共に歩む」一九六四年に旧法身体障害者授産施設「アガペ授産所（入所定員三〇名）」を開設してから今年で五〇年となります。時は移り行き、社会状況や経済活動が変化する中、福祉ニーズも多様になり複雑になって来ていますが、冒頭のアガペの理念は普遍です。

本年度は、当センターの「歴史」「強み」を再確認すると共に、地域事業所の皆さまとの連携、社会福祉法人への期待や使命を受けとめながら、地域と「協労」していく中で、地域福祉の発展と地域資源の開発・育成に努める為に、三カ年計画をスタートさせる一年と考えております。具体的には、①当センターの事業を知っていただくと共に、地域のニーズを捉え、他事業所さまとの連携強化による可能性を探る、②センターご利用者さま、ご家族さまに向けたサービスの質の更なる向上にむけたセンター機能の見直しと再構築、③ニーズに応えられる専門性を持った「人財」を創る事と、職員の「働きがいや満足度」の向上を目指す、の三点を捉え事業を推進してまいります。

そして、自分の弱さを最も知っている障がい者と共に歩み、障がい者が地域の中で「自立と尊厳」をもって生きるための支援に引き続き尽力してまいります。





情報処理事業の終了と新しい取組み

アガペ作業所　所長 坂口 健、指導員 大木 良一

本年三月三一日をもち、情報処理事業がその長い歴史に幕を閉じました。情報処理や印刷事業をご利用頂きましたお客様、同事業に従事して頂いた多くの利用者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

同事業は一九八一年国際障害者年に決議された「完全参加と平等」の精神に基づき、当時としては先進的かつ先見的なコンピューター分野で「重度障害者等特別能力開発事業」に参画した事が発端です。同事業は、障がい者への職業リハビリテーションの経験を持つ福祉施設と、社員教育の仕組みや高い技術力を持つ一般企業が提携し、必要な支援や訓練を提供する事で障がい当事者の一般就労や社会参加を促進する事を目的としたものでした。アガペセンターは日本アイ・ビー・エム株式会社様、富士通株式会社様、伊藤忠商事株式会社様にご協力頂きながら事業を推進して参りました。結果、多くの障がいを持った方を一般就労に結び付けると共に、情報・印刷関連の仕事を受託する「働く場」として、やり甲斐や生き甲斐を感じて頂く事が出来ました。しかし、時代背景や利用者ニーズの変化、福祉制度の大幅な変更などがあり終了する運びとなりました。

先人から受け継がれた思いや精神は変わる事はありません。新たな取り組みとして、昨年の十月から一般就労を目指し利用されている方を対象に、個々の社会力・生活力向上を目的とした国語や算数などの訓練や、パソコン操作などの実務訓練を中心とする就労トレーニングを実施しております。今後も利用者ニーズに即した形で、引き続き障がい者の社会参加に邁進していきたいと思います。

被災地交流研修

生活支援課主任
反町 仁

今回の研修は、これからのアガペを担う主任職が東日本大震災のあった現地に立つことで、法人として取り組まなければならない事業を確認する事を目的に、震災をきっかけに交流のある社会福祉法人大洋会青松館さんにご協力いただき、岩手県陸前高田市で行いました。

青松館さんから学んだ事は、新しい事にも積極的に取り組むチャレンジ精神です。ゼロからのスタートで、「できない」ではなくどんな事でも「形にしていこう」とする姿勢や、障がいをお持ちの利用者さんの特徴を正確に捉え、作業に掛かる時間ではなく、一人ひとりが役割と自信を持ち、誇れる活動をめざしている事が印象的でした。

当時の様子と今を知り学んだ事は、自然の力に対し自分たちだけではどうにもできないという現実でした。それだけに、日頃からの地域との繋がりに意味があり、とても大事な事なのだと改めて感じました。青松館さんが大事にしている、施設に来て知ってもらいたいという思いだけではなく、地域に対し私たちは何ができるか、という視点を持ち率先して活動を行った結果が、今回の震災でも活かされたようでした。アガペでも、地域との活動を継続しながら、私たちには何ができるか?という事を意識し、地域と困ったときには助け合える信頼関係を作り上げていきたいと考えました。

最後に、青松館の皆さんの温かさに触れ、悲しみもあるなか震災時のことなど沢山お話を伺い、参加者一同とても有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

新人紹介

生活支援課
須田 進
すだ すすむ

生活支援課
吉川 静香
よしかわ しずか

生活支援課
湯浅 貴樹
ゆあさ たかき

生活支援課
荒井 咲葵子
あらい さきこ

総務課
濱端 美樹
はまばた みき

生活支援課
芥川 瞳
あくたがわ ひとみ

生活支援課
武蔵野 萌
むさしの めぐみ

生活支援課
小原 千波
おばら ちなみ

生活支援課
嵐 ゆかり
あらし ゆかり

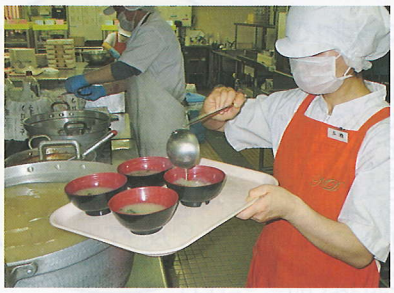
アガペを支える人々

アガペセンターの食事は、㈱ニチダンさんがつくっています。

㈱ニチダン　大塚 一義

アガペセンターの厨房業務を受託させて頂く様になってから、早いもので十年が経ちました。楽しさあり、不安ありの連続でした。特に、味付け・盛り付けには気を遣い、真心と思いやりを持って、スタッフ一同常日頃から心がけてお食事の提供をしています。

配膳においても温かい物は温かく、冷たい物は冷たいうちに召し上がれるよう、工夫して提供し努力しています。利用者様から「美味しかったよ」と声をかけられたりする事があります。そのような時は、本当に嬉しく思い、やりがいを感じる瞬間でもあります。



当たり前の事ですが、衛生面でも整理・整頓・清掃に気を遣い、会社の経営理念でもある「味と真心で社会に奉仕する」をモットーに、これからも安心安全はもちろんのこと、美味しい食事を提供できるよう、スタッフ一同工夫し試行錯誤しながら頑張っていきます。宜しくお願いします。

わたしの聖句

生活支援課　真名子 南津子

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙一 第五章

信仰のうすい者で、平穏な時には感謝も祈りもなおざりになりますが、辛い時や試練の時には、一生懸命祈り平安を求めます。後になると、その試練さえも「主から与えられた必要」であったとわかります。平安な時こそ、今日生かされている事、与えられている全ての事に、感謝を持って祈る事が大切だと気づかされます。自分の欠けを数えずに、主が全てを備えて下さっている事を確信しつつ歩んで行きたいと思っています。

同窓生は今

原田 公二 さん

第1作業所

2010.9.13～2012.11.14

株式会社ミューが経営する高齢者入居施設で働いております。入居者の方々の話を聞いたり、余暇活動を補助する仕事をしています。また、パソコン入力など、保険請求に関わる仕事もしています。

アガペで、職員さんに社会の仕組みや人付き合いなどを教えて頂いたことを感謝しております。お陰様で、世の中をうまく立ち回る？ことができています。

これからは、人生の中で乗り越えられないような大きな壁が立ちはだかるようなとき、辛い人生の中でアガペセンターに巡り合えたことを誇りに思い、そこで教えられたことを活かし人生を全うしたいと思います。

アガペにいる利用者さんには、自然体で力まず、就職活動をしてほしいです。世の中、皆さんが思っているほど怖くはありません。

お詫び

前号において、地図に記載の一部事業名が違っておりました。又、さくらメンテナンスさんの従業員お二人の写真に氏名が抜け落ちておりました。左記の通りです。誌面を借りてお詫び申し上げます。

門馬 八千代 さん

金林 静美 さん

社会福祉法人　日本キリスト教奉仕団

障がい者総合福祉施設　**アガペセンター**

・障がい福祉サービス事業所
アガペ第1作業所・第2作業所

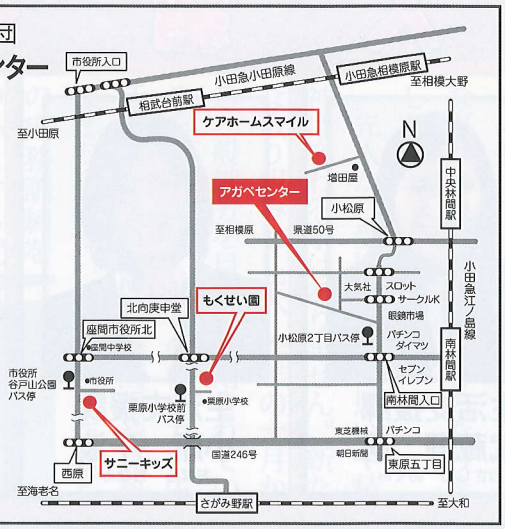
・障がい者支援施設
アガペ壱番館

・障がい福祉サービス事業所
生活介護事業
相談支援事業（総合相談室）
アガペサポートセンター

・障がい福祉サービス事業所
座間市立もくせい園
（〒252−0014 座間市栗原中央6-7-27）

・児童発達支援事業
座間市サニーキッズ
（〒252−0021 座間市緑ヶ丘1-2-1
総合福祉センター（サニープレイス）内）

・障がい者グループホーム
ケアホームスマイル
（〒252−0001 座間市相模が丘2-32-24）



※写真は関係者承諾の上、使用しています。